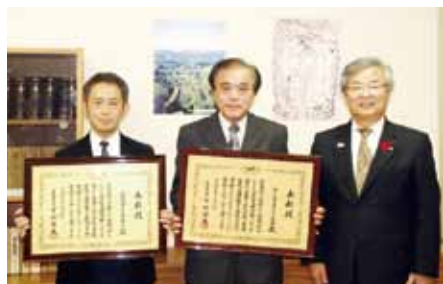


受賞2団体が教育長に報告 **学校支援で文部科学大臣表彰受賞**

市内の放課後子ども教室「あこおぎ子ども広場」と「長坂子どもクラブ」が、優れた「地域による学校支援活動」として文部科学大臣表彰を受賞しました。同表彰は2011年度から、学校、家庭や地域の連携による優れた活動をたたえているもの。本市の活動が表彰されるのは初めてです。

両教室は放課後の児童生徒の居場所づくりを目的に、04年度にスタート。それぞれ特色ある放課後支援活動を続けています。昨年12月17日、あこおぎ子ども広場が活動拠点にしている一関学習交流館の高橋正義館長と、長坂子どもクラブを支援する東山地域子どもの居場所実行委員会の菊地潤委員長が市役所を訪れ、藤堂隆則教育長に受賞を報告。活動に携わる関係者に感謝しながら、児童生徒を支える活動のさらなる充実を誓いました。



いわて農林水産躍進大会 **市内4団体が県知事表彰など受賞**

農林水産業や農山漁村の振興に尽力した個人と優れた組織・集落などを表彰する「いわて農林水産躍進大会」は昨年12月18日、盛岡市で行われ、市内の4団体が県知事表彰などを受賞しました。

受賞者は12月25日、勝部修市長に喜びを報告。勝部市長は「中山間地域に光を当てた皆さんの活動は、市の誇りです」とたたえました。

受賞団体は次のとおりです。

【いわて農林水産振興協議会会長表彰】農事組合法人京津畑やまあい工房(大東) / 【岩手県中山間地域モデル賞】(県知事表彰) 骨寺荘園団地集落(一関) / 【岩手県アドプト活動モデル賞】(県知事表彰) 3階つみ環境美化推進会(花泉)、金流川沿岸涌津土地改良区(同)



金山棚田を守る会 **「金山棚田米」を勝部市長に寄贈**

「金山棚田を守る会」の千田浩会長と小岩幸一事務局長は昨年12月25日、市役所を訪れ、勝部修市長に商品化した米「棚田のお米」(2キログラム入り)を贈りました。

同会は、舞川字唐ノ子の金山孝喜さん(75)が所有する金山棚田(同字唐ノ子)を保存し、その美しい景観の価値を広めようと、昨年からは本格的な活動を開始。田植えから稲刈りまで一連の作業に初めて協力しました。昨秋、棚田から収穫した米を商品化し、地区内の産直「あいあい」で販売を始めたほか、地区内外の協力者に贈りました。

千田会長は「水不足や天候不順を心配したが、無事に収穫することができました」と喜びを語り、勝部市長も本寺地区の「骨寺荘園米」を例に挙げながら「より多くの人との交流につながることを期待します」とエールを贈りました。



一関市消防出初式 **市民の生命と財産を守る活動誓う**

「平成26年一関市消防出初式」(市主催)は1月19日、市総合防災センター前などで行われました。

午前9時から行われた式には、市消防団(大森忠雄団長)、市婦人消防協力隊、市消防本部(平野和彦消防長)から1,243人、車両35台が参加。市、市議会、県議会など関係者が見守る中、観閲や分列行進などを行って、今年1年の無火災を誓いました。

一関文化センターで行われた式典で勝部修市長は昨年の大震災などの活動に触れながら「地域防災のリーダーとしてさらなる活躍を期待する」と告辞。大森団長は「今年は予防活動の推進、安全で事故のない活動の推進、次世代の団員確保の3つを重点目標にする。団員一人一人がしっかりと認識し、取り組んでほしい」と訓示しました。



図説 虹の文化史

杉山久仁彦 著  
空にかかる虹は、その美しさと不思議さで古来から人々を魅了してきました。アリストテレスの時代から続く虹の科学的研究、文学や美術とのかかわりなどを豊富な写真と図で紹介。

ちょっと具合のよくないときのごはん

岩崎啓子ほか 著  
病院に行くほどではないけれど、少し体の不調を感じる時。体の状態に合わせた食事を取ることで、体調を取り戻せたら…。身近な食材で「食養生」を実践できるレシピが満載。

世界の夢の図書館

エクスマレッジ 発行  
人類の叡智を収めた宝物=書物、その書物を入れる図書館。本書は世界各地のまさに宝箱のような図書館の写真集。世界遺産になった豪華絢爛な図書館や、現代アートを代表する建築も。

●市立図書館ホームページ(休館日情報などは)  
<http://www.library.city.ichinoseki.iwate.jp/top.html>

●県南第一ライブラリーからのお知らせ

「16ミリ映画フィルムなどを映画会・講習会・趣味活動に」  
県南第一ライブラリーでは、地域行事、子ども会行事、各種趣味活動などに活用できる「16ミリ映画フィルム」「ビデオ教材」「DVD教材」を無料で貸し出します。これらを上映する機器等の貸し出しも無料です。ぜひ活用してください。

詳しくは、県南第一ライブラリーのホームページ(<http://kashidashi.org/>)をご覧ください。購入教材目録などを掲載しています。  
●県南第一ライブラリー一関分館(一関図書館内) ☎2147 / 千厩分館(千厩図書館内) ☎1122

News 図書館へ行こう!

Q 図書館の本を誤って汚してしまったり、破いてしまったら?

A 図書館で専用ののりやテープを使って修繕します。家庭用のセロハンテープは変色するので、図書の修繕には向きません。汚損・破損の状態や資料によっては、弁償してもらう場合も

あります。もし本を破損してしまった際は、家庭で修理をせず、そのまま図書館へお持ちの上、職員へその旨を伝えてください。図書館の資料はみんなの財産です。公共マナーを守って利用しましょう。

- 一関図書館 ☎ 2147
- 花泉図書館 ☎ 4939
- 大東図書館 ☎ 3541
- 千厩図書館 ☎ 1122
- 東山図書館 ☎ 2324
- 室根図書館 ☎ 3820
- 川崎図書館 ☎ 4123
- 藤沢図書館 ☎ 5088

MUSEUM 博物館だより

●一関市博物館 ☎ 3180  
<http://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp>

イベント案内

●テーマ展「語りかける絵の世界—近代美術コレクションから」  
〔期間〕1月25日①～3月30日  
②〔場所〕一関市博物館〔内容〕当館所蔵の近代美術コレクションから、選りすぐりの品々を公開します。矢野茫土の情緒溢れる日本画、福井良之助によるガリ版刷りを応用した独創的な版画、写実を追求した白石隆一の油彩画などを展示します。静謐な風景画で知られる森本仁平の初公開作品(油彩画)も出展します。

●ギャラリートーク②  
〔日時〕3月8日①、9日② 11:00～11:40、14:00～14:40

●「東日本大震災から3年 市民フォーラム 地域の宝を守る—災害と歴史資料」  
〔日時〕3月9日② 13:00～16:00〔場所〕一関市博物館〔内容〕幾多の災害を乗り越え、地域の歴史を伝える文化財。東日本大震災で被災した資料を

守ってきた人々の姿を紹介し、地域の宝を守るため私たちに何ができるかを考えます◇基調講演：佐藤大介氏(東北大学災害科学国際研究所准教授、宮城資料ネット事務局長)◇パネリスト：佐藤美智子氏(陸前高田古文書研究会)、齋藤祥三氏(一関古文書に親しむ会)〔定員〕一般100人(申し込み必要)〔参加料〕無料

●移動博物館「お姫様のお国入り」  
〔日時〕3月1日①～26日② 9:00～21:30〔場所〕なのはなプラザ3階〔内容〕弘化4(1847)年、一関藩6代藩主田村宗顕の正室宣寿院が、江戸から一関へやって来ました。その時の様子を描いた資料を、パネルで紹介いたします〔参加料〕無料

●移動博物館展示説明会  
〔日時〕3月1日① 11:00～11:30、13:30～14:00

展示品紹介

「森本仁平の油彩画」

森本仁平(1911～2004)は、1930年代から1950年代初めまで、延べ10年間程を一関市で過ごした洋画家です。当時は教員として、県立一関高等女学校、一関市立山目中学校で教鞭を執りました。

これは、森本が晩年に過ごした千葉県鎌ヶ谷市の自宅に残されていた最後の作品です。描きかけで、完成には至っていません。雪をかぶった山並みと集落、つえをつき歩む人物が描かれています。森本の風景画には人物が描かれぬか、描かれても小さくひっそりとしている場合が多く、このように目立つ位置に配されることはあまりありません。それでも、雪景色を描いた何点かには、ここに登場するのと同じ、赤い上着につえを持つ後ろ姿が描かれる作品があります。この人物は、森本にとって特別な思い入れのあるモチーフなのかもしれません。

3月30日まで開催の展覧会「語りかける絵の世界—近代絵画コレクションから—」では、一関市にゆかりのある矢野茫土、白石隆一、森本仁平、福井良之助の作品を展示しています。この機会に是非ご覧ください。



森本仁平  
作品名不詳(絶筆)  
森本草介氏寄贈